

05 御都道第428号

令和05年09月08日

国土交通大臣 殿

御殿場市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和04年01月26日 付け 03 御都道第791号 で提出した、社会資本総合整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

計画の名称	御殿場市IC及び駒門SICとJR御殿場駅周辺へのアクセス向上と地域活性化を担う道路整備													
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	御殿場市													
計画の目標	御殿場IC及び駒門SICとJR御殿場駅周辺へのアクセス道路を強化することにより移動時間の短縮及び地域活性化を図る													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		2,170	A	2,170	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和3年度	中間目標値	最終目標値 令和7年度
1	観光拠点から御殿場IC並びにJR御殿場駅周辺への移動時間短縮 道路整備に伴う観光拠点から御殿場ICまでの移行時間の短縮率 (移動時間短縮率%) = (観光拠点からの移動短縮時間) / 現況移動時間(分)) × 100	0%	0%	5%
2	観光拠点から駒門SICへの移動時間短縮 道路整備に伴う観光拠点から駒門SICまでの移行時間の短縮率 (移動時間短縮率%) = (観光拠点からの移動短縮時間) / 現況移動時間(分)) × 100	0%	0%	5%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(1)0114号線 東山	現道拡幅 0.44km	御殿場市						200	未策定	
	A01-002	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(1)0114(2工区) 東山	現道拡幅 0.30km	御殿場市						120	未策定	
	A01-003	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(1)0115号線(3工区) 新橋	自歩道整備 0.30km	御殿場市						950	未策定	
	A01-004	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(市)0109号線 鮎沢	バイパス 0.61km	御殿場市						600	未策定	
	A01-005	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(市)4345号線 神場	現道拡幅 0.48km	御殿場市						300	未策定	
												小計						2,170	
												合計						2,170	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04			
配分額 (a)	111	102			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	111	102			
前年度からの繰越額 (d)	67	101			
支払済額 (e)	77	113			
翌年度繰越額 (f)	101	90			
うち未契約繰越額(g)	51	53			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	28.65	26.1			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	新型コロナウイルスによる 遅延	新型コロナウイルスによる 遅延			

事前評価チェックシート

計画の名称： 御殿場市IC及び駒門SICとJR御殿場駅周辺へのアクセス向上と地域活性化を担う道路整備

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合性	
I. 目標の妥当性 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画（御殿場市都市計画マスタープラン）と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指数・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が期待できる。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
II. 計画の効果・効率性 1) 計画の具体性など、事業の熱度が高い。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○